

はなまきじょうあと

ちゅうしんぶ ふ きん きたかみがわせいがん

花巻城跡は花巻市中心部付近の北上川西岸にあり、

は かがんだんきゅう とうたん きず しろ

西から張り出した河岸段丘の東端に築かれた城です。

しろ さんぼう せがわ きたかみがわ とよさわがわ かと
城の北・東・南側の三方は瀬川・北上川・豊沢川に囲

まれており、低地との比高差は最大で 10m 以上の崖、

しんにゆうしゃ はば てんねん ようがい

となり、進入者を阻む天然の要害となっています。西

ゆいいつ じつづ なんぼくやく はばやく

側は唯一の地続きのため、南北約 355m・幅約 30～

きよだい にごりぼり だんきゅう た き

50m の巨大な濁堀で段丘を断ち切っています。

じょうない ほり どのい くぎ

ほんまる に の

城内は堀や土塁で区切られ、北から南へ本丸・二之

まる さんのまる じゅん くるわ はいち しろぜんたい き ぼ とう
丸・三之丸の順に曲輪が配置され、城全体の規模は東

ざいやく なんぼくやく ひょうこう やく
西約 690m・南北約 510m です。標高は約 85m です。

げんざい しろあと たいはん し がいち

ほんまる

現在の城跡は大半が市街地となっていますが、本丸

あと いったい はなまきし していしせき ほぞん とやがさき
跡の一带は花巻市指定史跡として保存され、鳥谷ヶ崎

こうえん いっぱん
公園として一般

した
に親しまれてい

ます。西側には

ほんまるせいもん
本丸正門である

にしごもん へいせい
西御門が平成 7

ねんど ふくげん
年度に復元され

ています。



国土地理院撮影の空中写真(2011年撮影)に遺跡範囲を加筆して掲載